

3

もっと安心・安全な自転車利用を目指す

「宮崎市自転車安全利用促進計画」とは？

近年、自転車は日常生活における身近な移動手段としてだけでなく、健康増進やダイエツト、経済的な面からも注目を集めていて、これからも利用者が増加していくと見込まれています。

その一方で、本市では多くの自転車に関連した事故が発生している現状があります。また、自転車を通行するのに十分なスペースが無かったり、放置自転車がまちに溢れていたりするなど、自転車に関する課題はたくさんあります。

こうした自転車事情を踏まえて、安心・安全に自転車を利用できるまちを目指すため、「宮崎市自転車安全利用促進計画」を策定しました。計画では、『誰もが「安全」で「快適」に「楽しく」自転車を利用できるまち

の実現』をコンセプトに設定しています。具体的には、「走る」「守る」「活かす」「活用」の4つの柱に分けてさまざまな施策に取り組みます

(施策の概要は下記および9ページに掲載)。

本

計画を着実に推進することで、短期的には自転車

「走る」と「守る」には優先して取り組みます！



都市整備部長 田本典秀



車関連事故の低減が期待できます。また、長期的にはクルマから自転車への転換による交通混雑の緩和や、環境負荷の低減が期待できます。本市は温暖な気候に恵まれ、街中の至るところに花や緑が溢れています。一人でも多くの皆さんに、自転車に乗って、季節の移り変わりを感ぜるなど楽しんでいただければと思います。

誰もが安全で快適に楽しく自転車を利用できるまちに！

走る

自転車の通行空間を確保します

基本方針「走る」では、安全で快適な自転車ネットワークの形成、利用者の安全性を考慮した交通安全対策の実施、路面表示や案内板の設置を施策としています。

昨年10月には、県庁東側の「本町通線(ほんまちとおりせん)」に自転車レーン290m、税務署前の「恵美須通線(えびすとおりせん)」に自転車誘導レーン560mを市内で初めて整備しました。

どちらの路線も、これまで路上駐車場として活用していた空間を、自転車の通行用に整備したものです。これにより、歩行者と自転車の安全性の向上を図っています。



本町通線に整備した自転車レーン

整備箇所位置図



守る

ルールの周知や啓発を行います

基本方針「守る」では、自転車に関する交通安全教育のさらなる充実、関係機

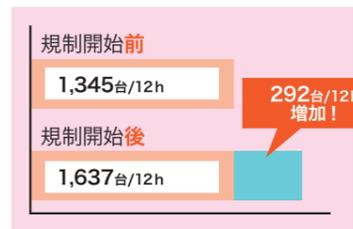


関と連携したルールの周知・啓発、安全啓発イベントとの連携・開催を施策としています。

平成25年11月には、大淀大橋の歩道で自転車一方通行規制を県や警察と連携して導入しました。橋の北側にある急な坂(路側帯)の安全確保や、小戸之橋通行止めに伴う自転車交通量増加への対応が主な理由です。

導入後、小戸之橋の通行止めで大淀大橋を行き来する自転車の量は増えましたが、ほとんどの自転車が一方通行を遵守。橋の北側の急な坂で自転車同士がすれ違うことも減っていて、安全性の向上に寄与していると考えられます。

一方通行規制前後の自転車交通量の変化



活かす

観光やスポーツでの利用を促します

基本方針「活かす」では、観光客の回遊性向上に向けた取り組み、新たな自転車の魅力づくり、自転車利用促進に向けた取り組みや公

共交通との連携、巨大地震発生時における自転車の活用を施策としています。

自転車はクルマの渋滞に巻き込まれることもなく、最短距離で目的地に到着することができ、都市内交通としては5km未満の移動で最も早い交通手段といわれています。

また、本市には、風光明媚な市街地をはじめ、自転車で気軽に足を運べる歴史・文化施設も点在しています。青島や一ツ葉などの観光地ではレンタサイクルも運営中。自転車の利用促進は、私たち市民だけでなく観光客の回遊にもプラスとなると考えられます。

停める

駐輪環境の確保に努めます

基本方針「停める」では、自転車駐輪実態の分析、既存駐輪場の利用促進、駐輪環境の充実に向けた取り組みを施策としています。駐輪場については、市内では放置自転車が多くの反面、既存駐輪場には空き(利用率



橋通第3自転車駐車場

50〜60%程度があり、利用の促進が不可欠です。

比べてみました！ クルマと自転車、早いのはどっち？



昨年12月に「小戸之橋通行止め」の影響を受けていると想定されるルートのうち、赤江浜入口から市役所本庁舎入口まで、最も早い交通手段を調べてみました。すると、「自転車」が最も早く到達しました。「クルマ」は案外時間がかかり、自転車が早いことが分かります。

自転車は手軽で早いこと以外にも、家計や環境にも優しく、健康づくりにも最適なことなど、さまざまなメリットがあります。



©宮崎市

徒歩	46分
費用0円	
クルマ	29分
市役所近くのパーキングから徒歩(ガソリン代+駐車400円/12h)	
バス	26分
赤江浜入口バス停〜橋通1丁目バス停から徒歩(片道270円)	
自転車	18分
車道通行〜本庁舎前駐輪場から徒歩(費用0円)	